

令和4年度 第3回 浜松市立江南中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月3日（金） 14時00分から15時25分まで
- 2 開催場所 浜松市立江南中学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 美佐男、池田 澄子、小澤 和男、塚越 勲、中西 正武
齊藤 綾子、井村 元子、鈴木 あかり
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 御手洗 実（校長）、小林 貴道（教頭）、柴久喜 豪亮（教務主任）
川上 恭子（CSディレクター）
- 6 浜松市教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 2名
- 8 会議録作成者 CSディレクター 川上 恭子
- 9 議長の選出 司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、池田会長から最終回であることから、自ら務めたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和4年度 学校関係者評価について
- (2) 令和4年度 学校運営協議会自己評価表について
- (3) 令和5年度 学校運営の基本方針について

11 会議記録

司会の小林から、委員総数8人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 令和4年度 学校関係者評価について（教務主任 柴久喜）

資料を提示し説明。来年度に向けての改善策をホワイトボードに示し、説明した。

不登校、別室当校の生徒に対する対応を可能な限り聞きたい。（井村委員）

生徒の挨拶がすばらしい。評価の高さに正直驚いた。一方で教室には入れない子がいること

にも驚いた。自身の経験でとにかく些細なことでも褒めてあげることによって改善したことがある。ぜひとも個人のいい所を褒めて伸ばしてあげてほしい。（鈴木美佐男委員）

孫に江南中学の良さを尋ねると「先生と何でも話せる」と答えた。アンケートの結果も納得ができる。（中西委員）

- (2) 令和4年度 学校運営協議会自己評価表について

一年でできたかどうか結果を求めるのではなく、段々でよいのではないか。「熟議」とよく言

われるが何をもって「熟議」と言うのか。（鈴木美佐男委員）

「熟議」の意図とする内容を説明。（教育委員会 鈴木）

コロナ禍でボランティア活動等が縮小しているが、もう少し落ち着き、自治会活動が再開すれ

ば、何かしら出来るのではないかと思う。(井村委員)

近隣の意見を聞き、砂丘エリアからは自転車通学するのに橋が危険で、結局かなり大回りしなければならず江南中を避けている実態を初めて知った。警察に協力をお願いするなどできないのか。今の状態では砂丘小から入学者がいなくなる。(塚越委員)

普段通っている道でも、通学の際はダメというのはおかしい。もう少し子どもを信じてもよいのではないか。特別な事情がない限り、中学校を選択できないようにしてほしい。地域連合会からもそう言った声が出ている。(鈴木美佐男委員)

外堀を埋めていくことに力を入れるのではなく、絶対覚えておかないといけないこと、社会に出たときに必ず役に立つことを教えてほしい。(塚越委員)

外国人に対してもっと遠慮なく話せばいい。子だけでなく親に対しても。(塚越委員)

南高校が行っているカワラハンミョウの研究を一緒にされてはどうか。(鈴木美佐男委員)

江南中の子は、いつどこで会っても挨拶をしてくれて本当に素晴らしい。いつも元気をもらっている。(井村委員)

立志式で発表した志をまとめた冊子にするか、タイムカプセルに埋めるなど先々につながる活動、また学校に帰ってくる活動にしてほしい。(鈴木美佐男委員)

(3) 令和5年度 学校運営の基本方針について (校長 御手洗)

地域の皆さんと一緒に活動する機会を増やしていきたい旨、説明。